



国労天車

国労天王寺車掌区分会
発行・荻島 康博
編集・編集部
2026年 1月20日
NO. 1454



天王寺車掌区分会

執行委員長 荻島 康博

反安全安心の鉄道輸送の確立・人減らし「合理化」
得2・春闘勝利・賃上げで安心して生活・働くこ
とのでできる労働条件改善など職場運動を取組む意
思統一で組織強化拡大に奮闘しなければなりません。
力地方公共の赤字を口実に「維持困難路線」と宣伝で
芸備線の赤字を口実に「維持困難路線」と宣伝で
協議会の一部署間について国土交通省に「再構築を
すなどローカル線廃止を進めよう」としている。
政府・JRは、公共交通を守る責任があること
では明白で、国鉄「分割民営」化の矛盾が顕著になっ
てはいる。業務体制見直しから駅社員無人化・業務委託・
遠隔システム導入での「みどりの窓口」削減施策・
に伴い乗務員負担が増大している。
態職場では、要員不足で休日出勤・年休抑制が常
に化し、命令と服従で精神疾患など休職者が増大し
ている。JR西日本グループで働く全社員の「不平・開
るこの声を示すことが重要である。
に国労が存在しているからこそ、会社で働く全社員
員へ積極的な声掛け要求実現・労働条件拡大を全
とみ、鉄道の安全輸送の確立・労働条件改善・組合
の力を結集し奮闘しなければならない。